

District 260 R.I. Governor **IKUZO KITANO**

524 Agata-machi, Nagano-shi, 380, JAPAN. Phone: 0262-35-1015

No.2

国際ロータリー第260地区 ガバナー 北野 幾造 〒380 長野県市町 524 北野建設株式会社内 Phone: 0262-35-1015

R.I. 第260地区内 ロータリークラブ会長・幹事殿

**TAKE
TIME
TO
SERVE**

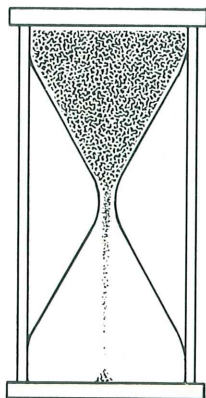
時間を捧げよう
奉仕のために

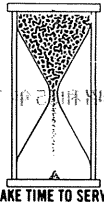
1980年度国際ロータリー第260地区協議会プログラム

- I. 日 時 昭和55年 6月22日(日) 9:30~15:40
- II. 場 所 本会議場 日本電装株式会社 体育館
分科会場 " PRホール
厚生ホール・教育センター
- III. 出席義務者
- | | |
|----------------|--------------------|
| 次期 クラブ 会長 | 次期 社会 奉仕 担当 理事 |
| " クラブ 幹事 | " 国際 奉仕 担当 理事 |
| " クラブ 奉仕 担当 理事 | " 青少年 奉仕 委員会 委員長 |
| " 職業 奉仕 担当 理事 | " ロータリー 財団 委員会 委員長 |

IV. 次 第

開 会 点 鐘	
国 歌 斉 唱	
ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱	
開 会 の 挨拶	ホストクラブ実行委員長 伊 藤 義 勝
来 賓 祝 辞	刈谷市長宮 田 一 松
歓迎の辞ならびに特別出席者紹介	地区ガバナー川 瀬 保
出席クラブ紹介	
新設クラブ紹介	
地区ガバナー挨拶	川 瀬 保
ロータリー財団功労者賞・意義ある業績賞	川 瀬 保
75周年記念活動賞・3-H活動賞伝達	
規定審議会報告	R. I. 規定審議会地区代表バストガバナー 田 辺 三 郎
地区ガバナーエレクトの言葉	地区ガバナーエレクト 北 野 幾 造
仕 食	
分 科 会	
グループ I ~ VII	
(移 動)	
(本会議開始)	
地区ガバナー挨拶	川 瀬 保
地区ガバナー及びガバナーエレクトへのバッジ贈呈	
地区ガバナーエレクト挨拶	北 野 幾 造
次期ホストクラブ代表挨拶	名古屋守山ロータリークラブ 佐々木 凜 一
ロータリーソング「手に手つないで」斉唱	
閉 会 の 挨拶	ホストクラブ会長 加 藤 伊 三
閉 会 点 鐘	





260 District Assembly held in Kariya City

1980年 地区協議会開く

●6月22日 刈谷市 刈谷R.C.ホスト



国際ロータリー第260地区協議会が、6月22日刈谷ロータリークラブ主管により開かれた。参加登録数は825名。梅雨の晴れ間の好天に恵まれ、川瀬ガバナー、北野ガバナーエレクト、加藤ガバナーノミニ候補、10名のパストガバナーが出席した。“時間を捧げよう 奉仕のために”を基調テーマとする、7分科会が持たれた。

川瀬ガバナー挨拶要旨

本会議を総括する最後の挨拶の中で、川瀬ガバナーは——各クラブと会員の一年間の協力に感謝の辞を述べ、ロータリー運動の根幹は各クラブの自治にあり、それはロータリアンの人間としての誠実と努力を措いて他にないと信念を披瀝。立派な会場に恵まれ、円滑な運営を全うした刈谷ホストクラブの努力と、施設を提供した日本電装と、休日返上し運営協力の同社々員各位に深い感謝を捧げると結ばれた。

表彰

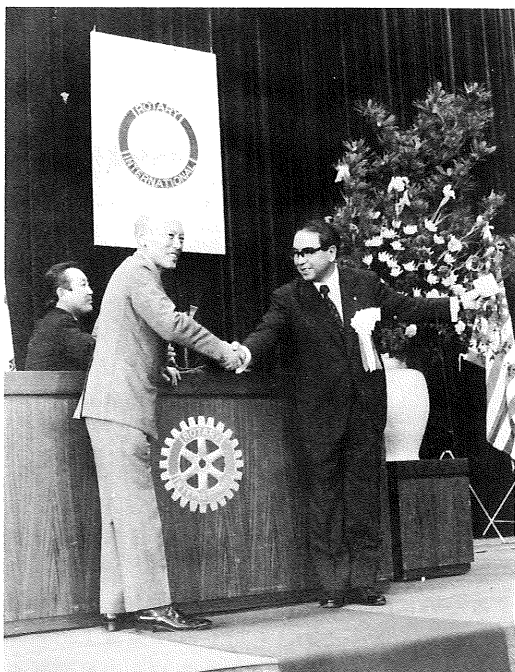
ロータリー財団功労者賞・田辺三郎パストガバナー、意義ある業績賞・辰野R.C.、一色R.C.、

3-H活動賞・名古屋空港R.C.、R.I.75周年記念奉仕活動賞・白馬R.C.を含む23クラブ。各々川瀬ガバナーから表彰楯などを授与。

北野ガバナーエレクト基調スピーチ要旨

1980年度国際協議会及びR.I.創立75周年記念シカゴ国際大会に出席した北野ガバナーエレクトは、ロルフJ.クラリッヒ新R.I.会長の開会式冒頭の挨拶“来る年度”を披露し、“時間を捧げよう 奉仕のために”の年度テーマにつき所信を概説した。

——ロータリーは個人が最重要であり、ロータリアン各人の奉仕の態度こそ問われると思う。ロータリー運動には実践と認識を繰返すサイクルが必要である。クラブ奉仕は出席から始まり、出席こそロータリアンの基底を成す。社会奉仕のプログラム策定は、まず地域社会の要求（ニーズ）を知ることからスタートせねばならぬ。“ロータリーに奉仕するために、一生の中的一年間、共に最善の努力を尽そう”とのクラリッヒ会長の言を引き、多忙なロータリアンこそ、



価値ある奉仕の任務を敏速に実行できる人だと思ふ、共に手を取り合つて、人生の貴重な時間を捧げようと挨拶した。

R.I. 規定審議会報告・田辺パストガバナー

鮎谷賢太郎P.G.に替り、規定審議会に出席した田辺P.G.は、32時間に及んだ同審議会の模様を報告。採択案47件、取下案34件、否決42件のうち、クラブ会長の就任要件として地区協への出席明文化規定、女性会員入会の件は反対を否決、R.I.人頭分担金1981年1月以降半期8.5ドル、R.A.C.・I.A.C.例会に義務出席せるロータリアンのメークアップ、シニア・アクティブの出席義務免除年令70才など主要案件についての報告があったが、総体としてはロータリーの現状を維持し、変更には反対であるとの大勢が判明したと報告を結んだ。尚、昼食時友愛の広場に於いて映写された田辺P.G.撮影の今回の旅行スライドが、多くの会員の興味を惹いた。

次期地区協主管は名古屋守山R.C.

分科会後再開された本会議では、由緒ある歴代地区ガバナーの署名が読みあげられて、ガバナーバッジが北野エレクトに渡され、名古屋守山ロータリークラブを次期地区協主管クラブとして指名、佐々木同クラブ次期会長挨拶、刈谷ロータリークラブ加藤伊三会長の閉会の辞を最後に、9時30分に開始した地区協議会は、15時20分「手に手つないで」の斉唱のともに、すべての日程を終了した。

分科会報告

グループ1 会長部会

リーダー 地区ガバナーエレクト 北野 幾造 (長野)
 アシスタントリーダー 地区ガバナー 川 瀬 保 (名古屋南)
 アドバイザー 地区ガバナーノミニ候補 加藤直一郎 (岡崎南)

概要報告：先ず北野リーダーより見解が発表された。クラブ運営に当って、R.I.の基本方針は「ロータリーの手続要覧」の冒頭に記されているように、クラブの実質的な自治にあることにご留意願いたい。そして定款及び手続上の制限は必要最小限度にとどめられており、特にR.I.の方針を解釈実行するに当り、クラブには最大の融通性が認められている。そこでクラブ内では個々のロータリアンによる綱領の推進と自主的、積極的なクラブ運営の重要性を再確認願いたい。



そして具体的重点事業として新年度は、

- 1) ローターアクトクラブの拡大
- 2) 530運動の推進

等各分区ごとに、或いは各委員会ごとに重点度を設けて運営されたい。

引つづき川瀬ガバナーより同様に各クラブの主体性を充分尊重した運営を基本にして、年次ごとその特性を生かすよう努力を期待するとの所見が発表された。併せてアドバイザーより前者同様の意見が出され、それを着実に実行するために実務上クラブアセンブリーを任期開始前に少くとも一度実施してクラブ内での意志の疎通をはかる必要が強調された。

つづいて各クラブ会長より1)クラブ奉仕に重点を置くクラブ、2)国際奉仕に意欲的にとり組もうとするクラブ、等多くの質問・意見発表が相次ぎ、時間切れとなるほど、積極的で意欲的な姿勢がにじみでていた。

グループ 2 幹事部会

リーダー	地区幹事 福山 巧 (名古屋南)
アシスタントリーダー	次期地区幹事 鈴木宗太郎 (長野)
アドバイザー	バストガバナー 滝沢 卓夫 (松本)
"	次期地区資金委員長 高沢 隆 (豊橋)
"	地区会計長 三木 陽 (名古屋南)
"	次期地区会計長 若麻績好美 (長野)

概要報告：1. 滝沢 P.G. (1)クラブ運営には会長主導型と幹事主導型の2型あるも、後者が良し (2)よって幹事職責は枢要ゆえ自覚をもって当るべし (3)クラブ記録保管、文書回答等は事務局員一任せず、自ら即刻処理せよ



2. 福山地区幹事 (1)当年度G事務所概説 (2)クラブ幹事任務を通年に亘り月次概説 (3)継続あるいは残余の75周年記念事業は、次年度各所管委員会で行え (4)地区現況報告

3. 北野ガバナーエレクト (1)幹事はクラブの要なり、クラブ活動の盛衰は幹事にあり (2)R.I.諸会議の議事は、ロバート議事法に依っているが、議事の中で幹事の役割は重要 (3)高沢元地区幹事 今年度地区大事務局員研修会での、各クラブ幹事に関する事務局員アンケート結果を説明し、クラブ幹事は可能な限り事務局へ出頭して、奉仕のための時間を捧げよと要請

4. 鈴木次期地区幹事 (1)クラブ管理に関するG.E.の見解——十二分の時間を捧げよ (2)公式訪問基本時間帯説明 (3)Gレクターへの投稿要請 (4)次期地区大登録要請——愛知会員数の、南信一と二は、東北信全員登録

5. 若麻績次期会計長 (1)1ドル=230円 (2)81年1月以降半期8.5ドルの見込 (3)米山奨学金増額依頼 (4)発受信文書送金関係の管理要請

グループ 3 クラブ奉仕部会

リーダー	南信第2分区代理 中山 修一 (伊那)
アシスタントリーダー	尾張第2分区代理 鈴木 茂 (春日井)
"	次期東北信分区代理 小平 良雄 (戸倉上山田)
アドバイザー	バストガバナー 山田市三郎 (名古屋南)
"	次期関係委員長 福田 源一 (江南)
"	" 水野 民也 (名古屋東)
"	" 伊藤 長一 (名古屋西)

概要報告：リーダーよりクラブ奉仕の基本は会長メッセージに示されているように「諸会合への出席に、委員会の仕事に、さらにはクラブの企画と活動を通じてロータリーの理想を推進するために時間を捧げることである」との見解が示され、更にこのことはクラブ運営上の基礎をなすものであり地味ではあるがその重要性を再認識してほしいとの所見が発表された。従って理事においては各委員会の任務をよく掌握し、事業計画は早目に立案し委員会開催をできるだけ早く行い、全てにわたって事前準備が必要であるとの認識が求められた。

第3分科会 クラブ奉仕部会



また特にロータリー情報、広報、ロータリーの友等の委員会との相互連けいを密にして運営してほしいとの意見も出た。

続いてアドバイザーよりロータリークラブの例会について「よい雰囲気」「よい食事」「よい卓話」が必須3条件であるとの所見が発表された。

その他 1) 例会の出席率 100%実現のためにどのような努力をはらっているか 2) 年会費について地区内各クラブの実体を統計的に示してほしい——等実務上の意見も出た。

グループ4 職業奉仕部会

リーダー	尾張第1分区代理	余 語 栄 三 (名古屋東)
アシスタントリーダー	次期三河第1分区代理	内 山 照 美 (豊橋南)
"	次期南信第2分区代理	池 上 英 雄 (辰野)
アドバイザー	バストガバナー	神 野 太 郎 (豊橋)
"	バストガバナー	田 辺 三 郎 (常滑)
"	次期関係委員長	福 与 碩 夫 (名古屋中)
"	"	岩 田 嘉 七 (名古屋北)

概要報告：先ずリーダーより職業奉仕活動について1) クラリッヒ会長のメッセージ(※)に示されたその意義に対する認識を深めること 2) その意義を委員会活動を通じて会員に充分理解してもらうこと 3) 地域社会や職場においてその実践を通じてその尊さを普及させること——以上3点にわたる要旨が示された。それをもとにアドバイザーより内外の実例を交えた適切な助言があり、活発な討論に入ったが殊に「最高水準の道徳的行動」の解釈については多くの見解が示され結論は出ずに終わった。



また地区内活動として「職業別会議」をより前向きに推進すべきであるとの提言がバストガバナーよりあった。しかも従来は愛知県で開催されていたこの会議を今年度は長野県で開催する予定となった。

また処世情報委員会の活動についても情報の交換はもとより職業奉仕についてのユニークな活動の情報提供を依頼する。

その他職業奉仕についてのもっとわかり易い文献を紹介して欲しいという意見も出た。

※職業奉仕とは、能力の限りをつくし、かつ最高水準の道徳的行動によって貴君の仕事の責任を果たすために、時間を捧げること。

グループ5 社会奉仕部会



リーダー	東北信分区代理	工 藤 芳 夫 (丸子)
アシスタントリーダー	次期尾張第1分区代理	橋 本 義 雄 (名古屋守山)
アドバイザー	バストガバナー	近藤友右衛門 (名古屋)
"	バストガバナー	原 享 二 (飯田)
"	次期関係委員長	野沢東三郎 (豊橋北)
"	"	奥 谷 博 俊 (尾張旭)

概要報告：ロータリークラブの社会奉仕活動は地域社会が本当に必要としているものに基づいているか否かの認識が必要である。しかもクラブ会員の一致した協力が得られるものでなければならない。また短路的に物的寄進に走るのではなく心のこもった実践活動が必要である——等の所見がリーダー・アシスタントリーダーより発表された。

また原則的には単年度完了が望ましいが、継続事業についても総花的にならないよう配慮し、重点事業をもってクラブの特性を出すよう努力されたい——との見解も示された。

具体例として 1)「太陽と緑」をテーマに老人が与えられる喜びから与える喜びを感じる様な運動を我々が奉仕しよう 2) 5 3 0 運動のより発展をはかろう 3) 8 3 0 (病0、闇0の意)運動の提唱がアドバイザーの諸氏よりあった。

尚、5 3 0 運動の実例として豊橋R.C.の実践活動について発表があった。それによるとこの運動は全市民的運動であり、日程を決めて体に汗して行う運動である。また基本認識として一般大衆はゴミの被害者であると同時に加害者であることを訴えて来た。参加者は回を追って増えつつあり、ゴミは回をおって減りつつあるのが現状である。

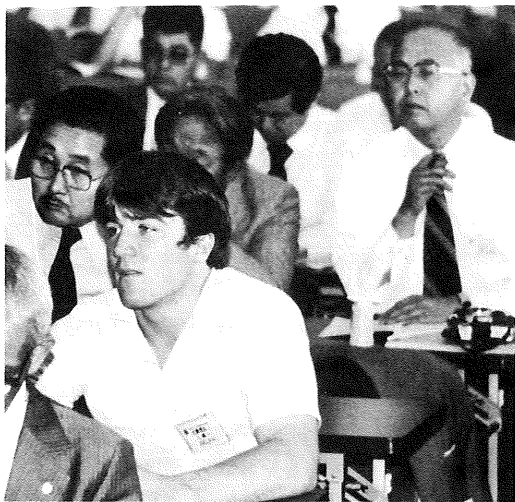
グループ 6 国際奉仕部会・ロータリー財団部会

リーダー	三河第1分区分代理	柴田 敏 幸 (田 原)
アシスタントリーダー	南信第1分区分代理	高木 信雄 (松本 西南)
"	次期三河第2分区分代理	荻須 文男 (岡 崎)
アドバイザー	バストガバナー	森 泰樹 (豊 橋)
"	次期関係委員長	日比野 安 (名 古 屋)
大竹 和美(あ ま)	小山 福松	(名古屋和合)
河合 利周	(名古屋北)	加藤 一三(名古屋北)
相羽 鎰一	(名古屋和合)	酒井 博(駒ヶ根)

概要報告：リーダーよりクラリッヒ会長のメッセージの説明があり 1) 3・H運動の寄付金額で日本が世界第1位であった 2) カンボジア難民に救いの手をさしのべよう 3) 国際奉仕に対する各クラブの考え方の調査を行うことの報告があった。

引つづいてバストガバナーより国際奉仕・ロータリー財団を理解するには関係各委員会の事業・任務に理解を深めることが大切であるとの提案があった。

また米山財団についてのクラブ寄与率を高めるよう北野ガバナーエレクトより要望され、更に3・H運動の継続について今後はロータリー財団の一部基金として残った旨報告された。



最後に国際奉仕活動の事例として、G.S.E.でカナダ555地区に4月末より45日間にわたって滞在され6月10日帰国された山本恵嗣団長(豊橋)よりあいさつがあり、つづいて交換学生として昨年より小諸R.C.に來られたアメリカのブライアン・カミングズ君の日本語の上達ぶりが本人の口より披露された。

グループ 7 青少年奉仕部会

リーダー	三河第2分区分代理	野々山 健治 (豊田 西)
アシスタントリーダー	次期南信第1分区分代理	松沢 恒久 (白 馬)
"	次期尾張第2分区分代理	吉田 稔 (大 山)
アドバイザー	バストガバナー	佐藤 知雄 (名古屋東)
"	バストガバナー	安野 譲次 (一 宮)
"	次期関係委員長	小島 武雄 (名古屋南)
"	"	梅田 章次 (岡 崎)
"	"	花岡 和雄 (松本 南)
"	"	山内 彊 (豊橋 北)



概要報告：リーダーより次のような見解が示された。1) 青少年奉仕活動は次代を担う青少年の健全育成をめざす運動が目的であり 2) 基本姿勢として青少年と同じ次元に立って共に手をたずさえて行くことが大切で、その認識を深めることとそれを実践することに「時間を捧げる」べきである 3) 260地区内は他の一般事業は活発であるが、青少年奉仕活動——特にインターアクト・ローターアクト活動については当地区内のクラブ運営の重点事業としてより一層前向きにとりくんでほしい。例えば各企業内における優秀な「若もの」の組織化、また職業高校生を主として対象としたインターアクトをつくること等である。

また成功例として伊那R.C.のローターアクトクラブは会員46名で尚入会希望者が続出しているとの報告があった。しかし一般的にはボーイスカウト等の既存の青少年団体に協力し、その中から育てる方法も提案され、この運動の発展を期することが結論となった。

1980～1981年度

国際ロータリー委員会委員

R.I. 理事

松平一郎

(東京日本橋)

ロータリー財団管理委員

上野 豊(横浜)

アジア地域諮問委員会委員

伊藤 恭一(大阪)

森松 定男(札幌南)

中川 昌一(高松)

1982年国際大会(グラス)

委員

玉村 文夫(東京)

拡大委員会委員長

青山 幸高(市川東)

会員増強委員

蔵並 定男(鎌倉)

R.I. 会長(82～83年度)

指名委員会委員

竹田 恒徳(東京北)

1981年太平洋地域大会委員

岡野 正雄(柏)

世界社会奉仕委員

辻 兵吉(秋田)

R.I. 規定研究委員会委員

向笠 広次(中津)

青少年活動委員

末永 直行(福岡西)

ad hoc com.

竹田 恒徳(東京北)

for special program

絹川 清(京都)

松本 卓臣(福山)

菅野 多利雄(塩釜)

国際ロータリー文献代行者

入江 直祐(神奈川)

(補佐)

安野 譲次(一宮)

国際ロータリー

在日財務代行者

柏原 孫左衛門(東京)

(代理)

杉谷 武雄

(東京日本橋)

国内

ロータリー米山記念

奨学会理事長

湯浅 恭三(東京)

ロータリーの友委員長

上野 豊(横浜)

ロータリーの文庫委員長

赤木 諒夫(船橋)

ロータリー日本史

委員会委員長

絹川 清(京都)

第260地区内関係者

「ロータリーの友」委員会

特別顧問

安野 譲次(一宮)

「ロータリーの友」委員会

地区委員

伊藤 長一(名古屋西)

ロータリー文庫

運営委員会委員

森 泰樹(豊橋)

ロータリー米山記念奨学会

副理事長

安野 譲次(一宮)

評議員

北野 幾造(長野)

"

加藤 直一郎(岡崎南)

"

川合 利周(名古屋北)

"

小野 寺秀和(名古屋空港)

ガバナー連絡会議の報告

Reports from various meetings

第1回ガバナー連絡会議 (6月4日、シカゴのパーマハウスホテルで)

西川、平田両議員をのぞく22名と79～80年度議員4名並びに数名の顧問、連絡委員が出席し、次のように決定した。80～81年度同会議議長に服部禮次郎君(275地区)、副議長に佐藤一雄君(252地区)、藤間忠顕君(269地区)の両名。連絡委員長に新しく杉谷武雄君(東京日本橋)を決定し、諸事項研究懇談のうえ解散。

第2回ガバナー連絡会議・パストガバナー懇談会 (7月1日、2日、東京のパシフィックホテルで)

病欠の藤間、福地両議員をのぞく22名と杉谷委員長、79～80年度伊藤茂議長が出席し、国際協議会の反省と新年度の方針等について研究討議の後に懇談会にはいる。先ず退任ガバナー代表あいさつ、新任ガバナー、ノミニ、新R.I. 理事松平一郎君(2年任期)、新R.I. 各委員、国内の各委員会新委員長等の紹介があり、引続きシカゴ国際大会、R.I. 理事会、規定審議会、国際協議会等の報告とあいさつをのべられ懇談に移ったが、それらのなかから要点をまとめると

①81年1月1日からR.I. のブランチオフィスが東京、サンパウロ、シドニーにも開設され、従来からのチューリッヒ、ストックホルムと合せて5ヶ所に増える。新東京事務所にはマネジャー、タイピスト等4名がR.I. の費用で駐在することになるが場所・予算・業務内容・人事等については今年11月頃に決る予定。

②規定審議会への提案手続が現行ではきわめて複雑困難なため、各クラブから出す場合にR.I. の定款細則委員会に依頼すると、それを手伝ってくれることになり、近いうちにリーフレットがつくられる。

③日本発行の「ロータリーの友」は今年7月1日からR.I. の公式雑誌に指定された。なお「ロータリーの友」委員会の人事・予算・事業等に関する責任は日本の24名のガバナーが負うわけである。

④今年のロータリー研究会は12月6日・7日東京で行われるが81年には当地区内名古屋で開催の意向が示された。

⑤規定審議会の報告については別号田辺三郎パストガバナーの報告を参照されたい。ただし可決された議件については、近いうちに文書であらためて全世界のクラブに賛否を問い、同意を得れば81年1月1日からはいじめて有効になって実施されることに注意されたい。

⑥81～82年度地区大会の日本国内24地区間のスケジュール調整については当地区加藤直一郎ガバナーノミニより81年10月3日・4日(豊田)の提案がなされた。当日提案されたなかで第250地区(帯広)が重複していたが双方とも了承された。

ガバナー北野幾造 記

地区内美術館めぐり



重文「本多平八郎姿絵屏風」(部分) 江戸時代
俗に「千姫屏風」とも呼ばれ、初期風俗画の三大傑作のひとつとして著名である。千姫が平八郎忠刻と結ばれるに至るロマンスを主題に、千姫は豊かな女性、平八郎はダンディーに描かれている。

(徳川美術館所蔵：名古屋市東区徳川町2-27)

●この地方の主要美術館：名古屋市博物館、愛知県文化会館美術館、熱田神宮宝物館ほか

District News 地区ニュース

今年度第1回地区諮問委員会は、7月7日(月)午前10時より、名古屋観光ホテルで開催。
引き続き12時から新旧分区代理・新旧地区委員長会議、午後3時30分から地区拡大委員会も同ホテルで開かれた。

第1回地区諮問委員会議題

1. ガバナー連絡会議報告
2. 地区大会関係
3. 1980-81年度地区行事予定
4. 1980-81年度重点事業並びに地区拡大増強に関する件
5. 1979-80年度一般会計及び特別会計決算報

告の件

6. 意義ある業績賞選考委員に関する件
7. オン・ツー・サンパウロ委員会設置の件

新旧分区代理・新旧地区委員長会議議題

1. ガバナーの方針
2. 地区委員会年度計画、予算について
3. 引継事項について

地区拡大委員会議題

今年度拡大増強方針と現状について

8月公式訪問日程

Schedule of Official Visits in August

1日(金) 戸倉上山田 4日(月) 名古屋東 5日(火) 名古屋名東
6日(水) 名古屋和合 7日(木) 江 南 8日(金) 岡 崎 南
18日(月) 名古屋空港 19日(火) 西春日井 22日(金) 常 滑
26日(火) 長 野 27日(水) 上 田 東 28日(木) 丸 子
29日(金) 諏 訪

訃 報 Obituary

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
7月2日 森 勇 殿(春日井R.C.)

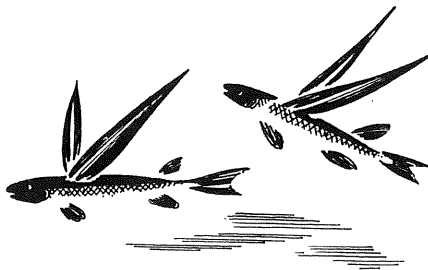
Information おしらせ

クラブ幹事さん ご注意

上半期報告書及び上半期送金について

各クラブの幹事さん宛に「半期報告書用紙」、「会員名簿」等がR.I. より送付されています。
手続未了のクラブがありますので、国際ロータリー細則第15条をご参照のうえ速やかにご送金と報告書の提出をされますように。

暑中お見舞申し上げます



ガバナー事務所一同